

立教186年

10月号  
第613号

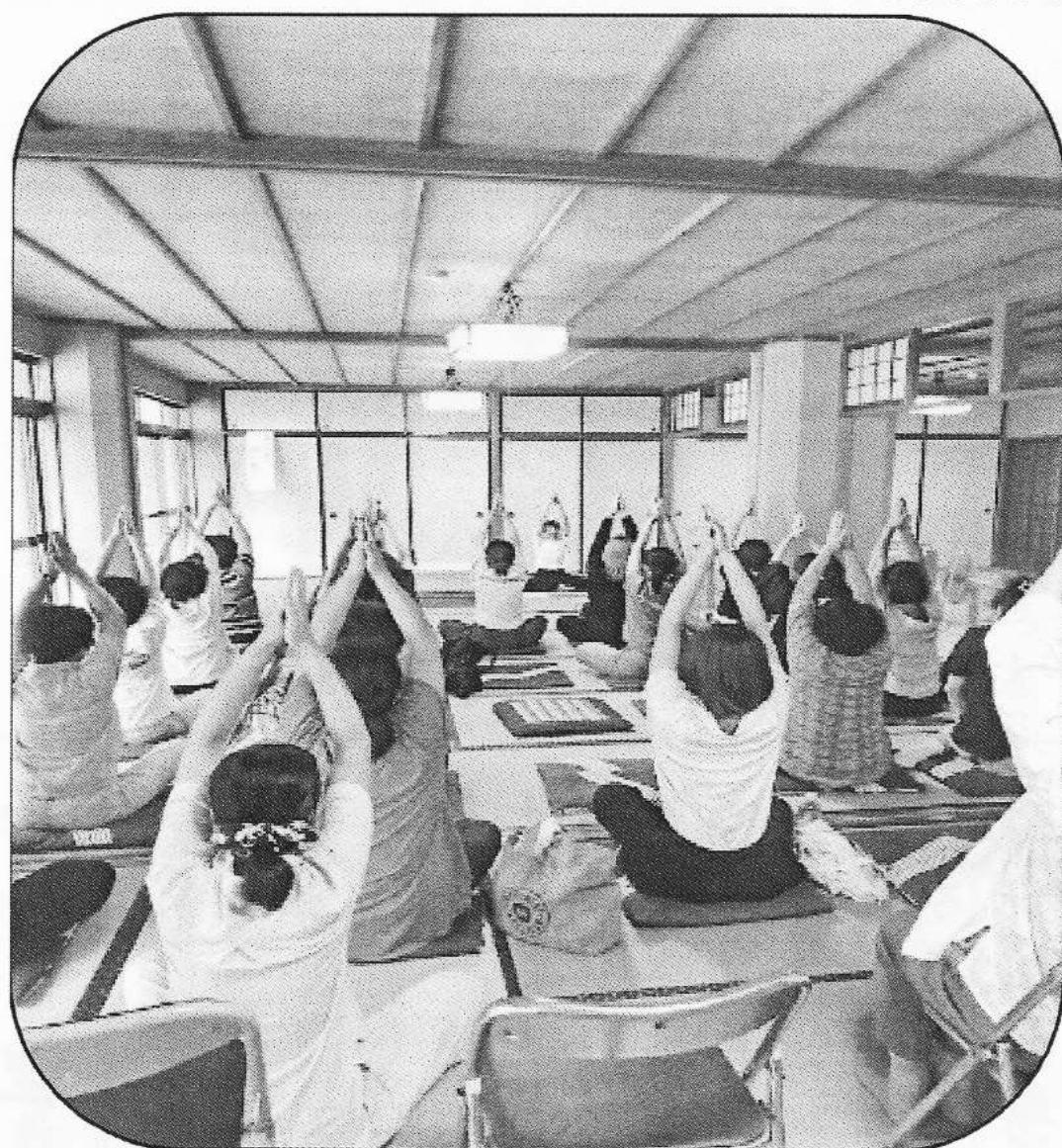


発行所

天理教宇仁大教会  
〒677-0015 西脇市西脇770-4  
電話 0795(22)4066 番  
FAX 0795(22)4072 番  
unigrandchurch@yahoo.co.jp

## 大教会創立百三十周年記念大会 10月29日

「いつも笑顔で！ たすけの輪を ひろげよう！」



### 母親講座 『どんなときも いそいそと』 9月9日

#### 散歩道

最近、雨が降れば災害となる線状降水帯が暮らしの中で身近な事となっている。このニュースを聞いた時、「けっこう源さん」の話思い出した。何でも「けっこう。」と喜ぶ源さんに、長雨に難渋している村人が、さすがにけっこうとは言わんだろう。と尋ねると、「けっこうや。」と仰り（おっしゃり）、村人は啞然とするが、次に、「これだけの雨が 度に降れば、町は水浸し、家も流されてしまう。神様が雨を分けて降らしてくださっているんですよ。」と仰られた。話を聞かせて頂いた当時は、台風や、河川の決壊など想像したのですが、まさか、本当にバケツをひっくり返した様な雨が降り続き、災害に繋がるとは思いもしなかった。「今の所、大きな被害がなくて良かったなあ。」という話ではなくて、災害により大変な思いをしておられる方々がおられます。教祖伝などを紐解けば、きっと答えはあるでしょうが、私達は、そこまで連れて通る使命があります。現に線状降水帯という事実、曲げる事も、無くす事も出来ないから、そこに神様の思いを汲み取り伝える事が重要になる。さすがの源さんも、この雨だけは、「けっこう。」とは仰られないとは思いますが、もし、「けっこう。」と仰られたら、私達は、きっと啞然とするでしょう。そして次に、源さんは何と仰るでしょうか？皆様も 度考えてみてください。



## 「創立130周年記念大会」

10月29日（日）午前9時受付 10時開会  
「いつも笑顔で！ たすけの輪を ひろげよう！」

### 当日タイムスケジュール

午前8時30分	係員集合受付
9時	一般参拝者受付、着替え
9時50分	殿内全員着座
10時	おつとめ
12時	記念講演 松村登美和世話人先生（本部員） 第1部終了、第2部模擬店、抽選会説明
13時	記念写真（殿内）
13時20分	第2部お楽しみ行事開会
15時	閉会、後片付け

駐車場 西脇警察南側（係員の誘導に従ってください）

貴重品は持参しないようにしましょう。

着替え 男子 神殿階下大広間 女子 旧神殿一階

## 一 理 塚

教祖百四十年祭二年千日歩み

出しの年、真柱様から諭達第四号の発表を頂いてから早、一年の十月を迎える。本部からの巡教を受けて、各教会で教祖百四十年祭二年千日の活動目標を定め歩みだした。各教会につながる皆さん、定めた目標を意識して日々を歩まれている中である。

コロナの分類が2類から5類に変わったことで、すぐにはどうなるかわからなかったが、子どもおぢばがえりも実施され、少しずつできることが増えていき、元的生活へと近づいている感がある。年祭への動きに拍車がかかるには、良いことかなとも思わせていただく。

教祖逸話編によると、教祖は見抜き見通しであられたという。

逸話編 廊下の下をには、

「明治十一年、上田民蔵十八歳の時、母いそと共に、お屋敷へ帰らせて頂いた時のこと。中略又、ある時、母いそと共にお屋敷へ帰らせて頂いた時、教祖

は、『民蔵はん、この屋敷は、先になつたらなあ、廊下の下を人が往き来するようになるのやで。』と、仰せられた。後年、お言葉が、次々と実現してくるのに、民蔵は、心から感じ入った、という」

また、「牡丹の花盛り」という逸話に、「井筒たねが父から聞いた話。井筒梅次郎は、教祖が、いつも台の上にジッとお坐りになっているので、御退屈であらうまいか、とお察し申し、どこかへご案内しようと思って、『さぞ御退屈でございましょう。』と、申し上げると、教祖は、『ここへ、一寸顔をつけてごらん。』と、仰せになって、ご自分の片袖を差し出された。それで、梅次郎がその袖に顔をつけると、見渡す限り一面の綺麗な牡丹の花盛りであった。ちょうど、それは、牡丹の花の季節であったので、梅次郎は、教祖は、どこのことでも、自由自在にござらんになれるのだなあ、と思つて恐れ入った。』とあります。

ご存命で今も見ていてくださる教祖には、日々子どもの姿を

ご覧になっていて、励ましてくださっているのだろうと思わせていただきます。

未来の年表という本がコロナになる前に出ました。コロナ禍にあって、社会が変わろうとしているときに、これからの社会を見通すのに参考になる本である。日本という社会は、これからどうなっていくのだろうと思う。本によると、日本の人口が減少していくことはもう止められない事実である。そして、人口減少はどんな社会をもたらすのだろうかと予測している。

青年会のあらしきとうりょうに「AIは良きパトナになりえるか」というテーマが特集された。時代の変化は、人工知能AIを発達させて、どんどん進化している。「人間らしさを支える、適度に距離のある友達」  
 『無限の可能性を秘めた怪物・・・』  
 『AI』の真実” 生成AIの誕生と『宗教／信仰』のゆくえ”どのテーマも、今後の参考になる。

教祖百四十年祭 一年千日が始まる 年前、「みちのとも」に

表統領様の「これからの道の歩み」の要旨が掲載された。

その中で、「あらためて振り返れば、戦後百年祭までの 一年千日の年祭活動は、ある意味でおやさふしんとおぢばがえりという形にだんだん集約されていったのではないのでしょうか。それが、「百」という大きな区切りの節を越えて、次の百年へのスタートを切った時、 一年千日の年祭活動は、それぞれの教会がそれぞれ思索して直接的にたすけ一条の活動を展開し、その振興活動の充実によって成人の歩みを進める方向へ向けてくださった。」とお示しくいただきました。

教祖は、いつも見抜き見通しで、今もこれからも、陽気ぐらしへの道をお示しく下さっているのでしょうか。今こそ、じかに聞いてほしい時ではありますが、「いちれつ しあんたのむで」と結ばれたおふでさきに、今こそその思いに思いを巡らせ、歩みたいものです。

この十月は、諭達第四号が発表されてから 年になります。

真柱様がお示し下さっている通り、教祖にお喜びいただきご安心頂けるよう、つとめさせていただきます。

大教会創立百一十周年記念大会がつとめられます。宇仁の理に繋がるようぼく・信者が大教会神殿に集まり、同じ思いで堂に勇んでおつとめをつとめさせていただきます。

『教祖と歩む三年千日』  
 教会布教実働報告

◎兵庫中央分教会会場

私どもの教会では、特別に布教日を設けているわけではなく、できるだけ毎日布教に出るよう心がけています。

日課としては、9時半に神殿に集まり、坐りづとめ・十下りのお願いづとめさせて頂き、その後「布教を志す者へ」という布教指針を読み、それぞれの布教目標や心構えを発表し、布教に出発します。布教の内容は、奇数日が駅前布教、偶数日は戸別訪問としています。

兵庫中央では教祖百四十年祭に向かう年祭活動の実践項目として、「10万件のいをいかけ・おたすけ」を挙げ、路傍講演や神名流しの回数、街頭での声をかけた人の人数、戸別訪問の軒数、またおさづけ・お願いつとめの回数、初席、修養科などの人数をカウントし教会へ報告してもらい月ごとの集計を教会報にて発表しています。

8月は、神流し64回、路傍講演40回、戸別訪問172軒、声がけ1、426人、おさづけ158回、お願いづとめ175回、初席者2人でした。

この教会の布教体制の基礎ができたのは、十年前の教祖百十年祭の年祭活動を通してでした。布教の要は御存命の教祖を信じる信念と継続だと信じて十年間続けてきました。今、新たな塚を目の前にして、まずはこれまで通り倦まず弛まず日々の布教を継続し、教祖のご満足頂ける教会内容充実と道の進展の上に心を尽くす一年千日を歩ませて頂きます。



『宇仁会報に見る大教会史』 第84回

⑤創立100周年

(28)

この項が掲載される頃には、百十周年記念大会は盛大にとめられたであろうか？それとも直前であろうか？

百周年がとめられた平成5年も、令和5年と同じように毎月大教会で、おてふり・鳴り物・祭儀式や地方の練習が行われている。そして十月十日にはおつとめ奉仕人が全員集まって総合練習が実施されている。また、毎週火曜と金曜の午後七時半から雅楽の練習が行われ、毎回十名近くが参加していると記載されている。さらに青年会では百周年記念ステッカーを作成。図案は国延分教会笹倉和史氏。宇仁の頭文字Uがイメジされた格調高いステッカーで、一枚二百円で販売され、車などに貼って宣伝を、と呼び掛けている。七月十五日の大教会月次祭には、田川世話人先生にお入り込

み頂き、創立百周年に向け、また教祖百十年祭に向かったの、私たちの日々のつとめ方や心構えについて、自らが求めて動くよう諄々とお仕込み頂いた。これを受けて九月には部内

斉巡教を実施。大教会の思いが部内隅々まで行きわたるよう、また当日はようぼく・信者が一人残らずこぞって参拝し、真柱様のお言葉を聞かせて頂くよう周知徹底を期した。

このようにして着々と心と体の準備を整えていく中、十月十日には「おさづけ人団参」が婦人会の主催で開催され、大型バス十台とマイクロバスを連ね、六百名余りが百周年を決起するおちばがえりに参加した。ちなみにこの日は十八名がおさづけを拝戴した。

そしていよいよ間近に迫った宇仁会報十一月号(二百五十四号)には、当日のスケジュールや直前情報が掲載された。



◎月例布教実動 布教部

『教祖のお供をさせて頂く日』  
毎月15日 午後1時30分 大教会神殿集合  
布教実動(戸別訪問)・ふりかえり  
『親神様の神名を世界へ流す日』  
毎月24日 午後1時30分頃 大教会神殿集合  
神名流し(大教会周辺)

婦人会より

◇大教会炊事当番

10月 神福A  
11月 直 属  
12月 神福B  
よろしく  
お願いします

宇仁女子青年 こかん様に続く会

立教186年11月26日(日)

7 30	大教会出発		
	本部月次祭参拝	15 00	詰所ひのきしん
12 15	詰所にて昼食	15 30	詰所出発
13 00	パネルシアター 茶話会		大教会到着 解散



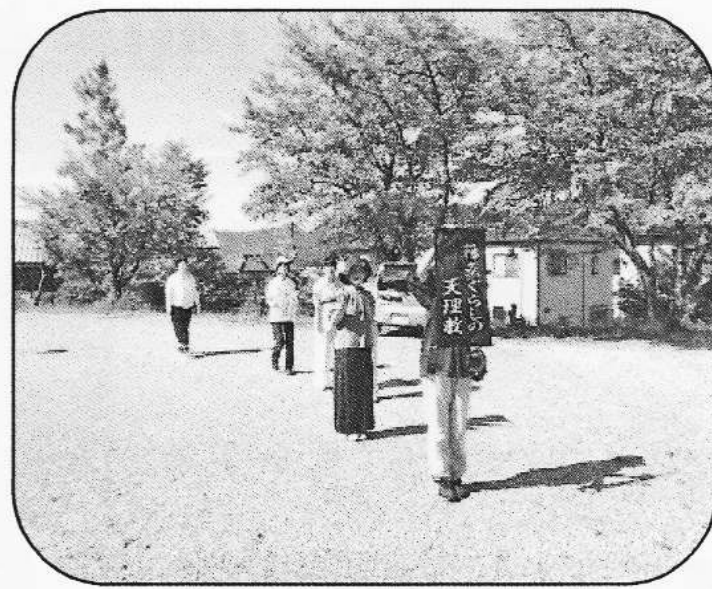
### 母親講座開催

九月九日（土）、まずにをい  
 がけ強調月間ということ、支  
 部長先生をはじめ婦人会で大教  
 会周辺を神名流しさせて頂き、  
 心勇む中、御空分教会 旭和世  
 先生をお迎えして、母親講座を  
 開催しました。参加者 大人3  
 3名、子ども5名でとても賑や  
 かでした。

旭先生はお子さんのご病氣、  
 出直しというとても辛い体験を  
 なさる中、ご家族や周りのの方々  
 と心を合わせ、教祖のお好きな  
 「どんなときも いそいそとー」  
 というお心で前を向いて明るく  
 通られており、そのお話にみな  
 感銘を受けました。

あとの振り返りでは、「日々  
 不足事も多かったけど、今日の  
 話を家族にも話して少しでも喜  
 んで通らせてもらいます」や  
 「子育て中でしんどい時もある  
 けど、一緒にいれることが当た  
 り前ではないと改めて感じた。  
 日々を喜んでいきたい」など、  
 心の向きを変えて頂き、とても  
 ありがたい講座となりました。

お話の後にはリラックス呼吸  
 法も体験させてもらい、みな心  
 も身体も力をふわっと抜いて、  
 とてもいい笑顔になりました。



### 少年会「わんわんの里 キャンプ」報告

この夏8月22〜23日、宇仁団  
 としては四年ぶりにさんさいの  
 里キャンプを実施しました。参  
 加者は少年会員8名（内わかぎ  
 4名）スタッフ3名の計11名で  
 した。

大教会を8時半に出発した  
 行は詰所で昼食後、本部を参拝  
 してから奈良市にあるさんさい  
 の里キャンプ場に14時半頃到着  
 しました。

初日はモルックというゲーム  
 やどんぐりや松ぼっくりを使っ  
 た炭作りを体験し、そして夜に  
 は笠岡団や愛静団のお友達と一  
 緒にキャンプファイヤで盛  
 り上がりました。夕食はバベ  
 キュ。行事の間に2回の中断  
 を挟みつつ、夜9時頃まで美味  
 しくいただきました。

2日目は6時起床で朝の集い。  
 朝食は窯焼きのピザ（ピザは市  
 販ですが）雨の予報もあったため  
 午前中にフォトテレーリング、ラダー  
 ゲッター、カラコロ作りといった  
 メニューを詰め込みました。その  
 後火起こしからカレー作りまでを  
 子ども達で行い、予定を少し早  
 めて、13時に退所式を行い、さ  
 んさいの里を後にしました。（大  
 教会到着後に大雨が）

少年会本部スタッフのお世話  
 取りのもと、子ども達もすぐに  
 打ち解け、安心して楽しく過ご  
 す事が出来ました。自然の中で  
 火水風のご守護を感じられるプ  
 ログラムで、これからの宇仁団  
 の少年会活動にも取り入れてい  
 きたいと思えました。来年もい  
 くぞ〜！お〜！

### おぢば通信

#### 八月のうごき

◎別席の誓い

久樹

一名

兵庫中央

名

◎八月帰参者

一七一名  
（詰所調べ）

#### 10月行事予定表

- 9日 婦人会例会
- 15日 布教実動日
- 19日 少年会例会
- 24日 大教会月次祭
- 記念大会係員打ち合せ

女子青年例会

26日 本部月次祭

29日 宇仁大教会創立

百一十周年記念大会

#### 11月行事予定表

- 9日 婦人会例会
- 15日 布教実動日
- 19日 少年会例会
- 24日 大教会月次祭
- 女子青年例会
- 25日 第97回青年会総会
- 26日 本部月次祭



## 第97回 天理教青年会総会について

「第97回天理教青年会総会」を11月25日（土）11時から  
本部中庭にて開催いたします。 天理教青年会本部

本年は基本方針に 心を澄ます毎日を。を掲げ、  
心新たに活動していきます。

## 教祖140年祭 三年千日

### お願いづとめ

教祖140年祭に向かうようぼくそれぞれの心定め、の完遂とおたすけの御守護を願い、  
教会本部神殿で、日曜・祝日、毎月25日の午前11時30分に「お願いづとめ」が勤め  
られます。

おちばへ帰参される方はぜひご参加ください。

### おやさとのきしん

親里でのひのきしんを希望される方に、ひのきしんの受け入れをいたします。個人や  
少人数でも気軽におつとめいただけます。

希望される方は、下記の場所に問い合わせてください。

（・神苑、境内地 ・おやさとやかた東棟周辺 ・豊田山墓地）

※道具の貸し出しを行っています。ひのきしんの際に出たごみや草木の処理は、  
係員の指示に従ってください

※団体（30名以上）および定期的に行う場合は、事前相談が必要となります

### 《宇仁会報編集部より お知らせ》

宇仁会報次号は宇仁大教会創立130周年記念大会特別号として614・615号の  
合併号でお届けします。発行日は11月24日の予定です。尚、次々号（616号）  
は1月1日の発行とさせていただきます。ご了承ください。

### ● 訃 報

峰南分教会三代会長

常峰卓郎 氏

令和五年八月二十二日出直  
されました。（享年九十歳）  
昭和三十年おさづけの理  
拜戴。昭和三十四年三代会  
長に就任され、大教会役員  
としても長く勤められまし  
た。  
慎んで哀悼の意を表します。